



令和 7 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 66 回放射線管理研修会)のお知らせ (3)

令和 7 年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

令和 7 年度放射線安全取扱部会年次大会は近畿支部が担当し、滋賀県大津市で開催します。

本大会の概要を以下に示します。

年次大会概要

○開催日：2025 年 10 月 16 日(木)，17 日(金)

○会 場：ピアザ淡海（おうみ）

滋賀県大津市におの浜 1 丁目 1 番 20 号

○テーマ：放射線の三方よし！～管理・利用・世間を主任者が紡ぐ～

参加登録の詳細は年次大会ホームページ（https://www.jrias.or.jp/annual_meeting/index.html）でご確認ください。

参加費（税込）		事前登録	当日登録
年次大会	一般	7,000 円	9,000 円
	学生会員	無 料 ※	9,000 円
交流会	一般	8,000 円	不可
	学生会員	8,000 円	不可

※学生会員は入会にあたり年会費として 1,000 円を申し受けます（事前登録のみ）。

交流会の当日登録はありません。定員になり次第締切りとさせていただきます。

〈プログラムのハイライト〉

【1 日目】

●特別講演Ⅰ「最近の放射線規制の動向（放射性同位元素等規制法関連）」

（10 月 16 日 11：00～12：00）

最新の放射線安全規制の動向を原子力規制庁の担当官の方に解説いただきます。

●特別講演Ⅱ「核医学治療の最新動向と現場状況」

（10 月 16 日 14：30～15：30）

近年注目を浴びている核医学治療についての最新動向を大阪大学の渡部直史氏にご講演いただきます。核医学治療の分野で我が国のフロントランナーとして取り組んでおられるアルファ線核種 ^{211}At の臨床研究の最新の話題を中心に、核医学セラノステイクスの最前線と今後の展望について熱く語っていただきます。

一方で、 α 線核種や β 線核種を臨床の現場で安全かつ合理的に扱うために留意すべき課題も多くあります。フロントランナー施設であるがゆえのご苦労や工夫を、放射線安全管理の面から大阪大学の川口修平氏にお話しいただきます。

これから急速に普及することが予想される核医学治療について、しっかりと理解することが安全かつ適正な医療へと繋がると共に、医療従事者の安全を考慮した適正かつ合理的な運用を考えることになると考えています。

●特別講演Ⅲ「原子力災害への対応と自治体における取り組み」

（10 月 16 日 15：40～16：40）

滋賀県の一部が UPZ（原子力災害対策を重点的にすべき地域）圏内となっております。原子力災害対策には、自治体の理解及び協力が必要となります。

日本原子力研究開発機構の長久保梓氏より、原子力災害時における防護措置の基本的な考え方と有効性についてご講演いただき、滋賀県防災危機管理局原子力防災室の加藤直暉氏より、滋賀県における原子力災害対策に係る取り組みについてご講演いただきます。

原子力災害が起これば、RI 関係者の動きを必要とされます。原子力災害への理解を深める機会となることを期待しております。

●ポスター発表（大会議室）

参加者の皆様より、放射線安全管理をキーワードとした内容についてポスター発表をしていただきます。全国の放射線施設の管理担当者、放射線取扱主任者、将来、主任者を目指す学生等の皆様の意見交換・情報共有の場となることを期待します。

掲示期間：10月16日12：00～10月17日12：00

発表時間：10月16日13：00～14：20

【2日目】

●シンポジウムⅠ「大線量照射事業の現状と将来予測」

（10月17日 9：15～10：45）

放射線取扱主任者としての知識を改めてアップデートしていただく機会を提供するため、大線量照射事業について、シンポジウムを開催いたします。

丸紅ユティリティ・サービスの金田宏樹氏より、世界に⁶⁰Co線源を供給しているNordion.Inc.社の紹介と⁶⁰Co線源に係る現在の需給状況及び将来予測について、ご講演いただきます。

コーガアイソトープの廣庭隆行氏より、⁶⁰Co線源によるγ線照射施設の現場目線での維持管理の現状と課題、また、放射線照射が利用されている製品をご紹介します。

近畿大学の芳原新也氏より、近年規制強化された大線量照射施設等に係る防護管理とその基本的な考え方について、ご講演いただきます。

●シンポジウムⅡ「琵琶湖をめぐる安全サイクルー放射線管理の365日ー」

（10月17日 11：00～12：30）

シンポジウムⅡは企画専門委員会の企画として行います。1年間の放射線管理に関して、放射線業務従事者の国際化、外部利用者の受け入れ・送り出し、拠点連携、消防や警察との連携、法定帳簿のデジタル化、PDCAの回し方等、我々放射線取扱主任者は様々な課題を抱えています。本シンポジウムでは、大規模RI施設を管理されている大阪大学の鈴木智和氏、及び、中規模RI施設を管理されている鹿児島大学の尾上昌平氏のお二方にご講演いただきます。1年間の放射線管理業務の流れをお話いただくと共に、それぞれの先生が特に力を入れていらっしゃる放射線安全管理について具体的な事例をご紹介

させていただきます。日常の放射線管理に関する課題を解決する一助といたします。

●相談コーナー

（10月16日12：10～14：10）

初日の昼食休憩時間より相談コーナーを開設します。事前申込制で、日常の疑問・お悩みごとに法令検討専門委員会や各支部の経験豊富な相談員が応対します。

●機器展示（大会議室）

放射線関連サービス会社、製品メーカーによる機器展示を行います。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です。お時間の許す限り、何度でもお立ち寄りください。

10月16日 10：30～16：50

10月17日 9：10～12：00

※ポスター発表会場、機器展示会場にはドリンクコーナーやWi-Fi設備を設けます。

●交流会（びわ湖クルージング）

（10月16日18：00～20：00）

びわ湖クルージング船での交流会を開催します。交流会の参加人数には制限がございます。このため、交流会への参加申込は事前登録にて承り、定員に達し次第締切りとしますのであらかじめご了承ください。交流会に参加希望の方は、必ず事前登録を行っていただきますようお願いします。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

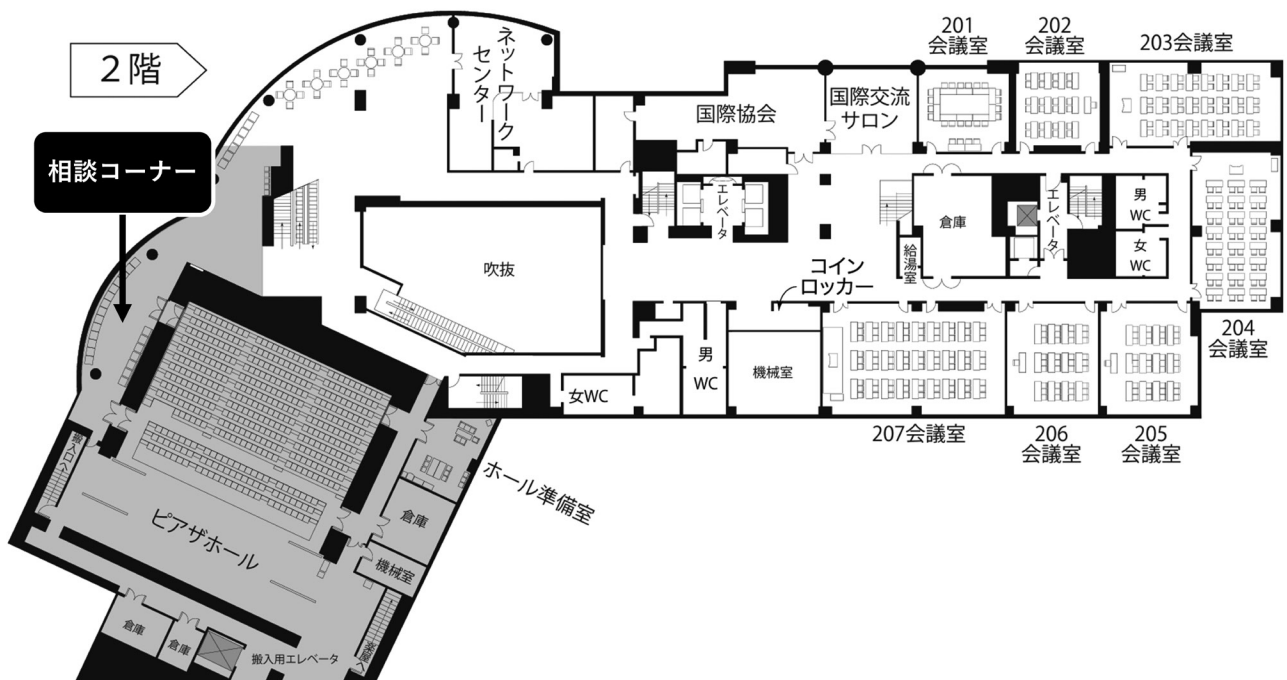
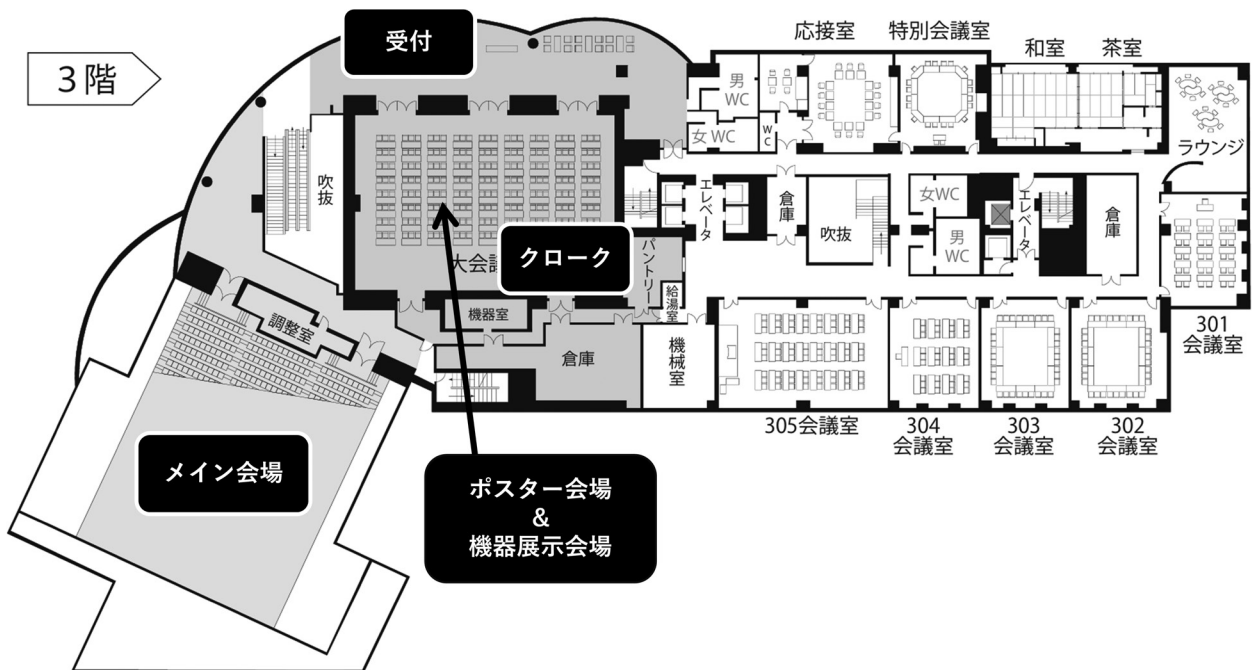
日本アイソトープ協会学術課

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

TEL 03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail nenjitaikai@jrias.or.jp

会場レイアウト
ピアザ淡海



アクセス



付近詳細図



【近隣からの所要時間】

- ・JR 大津駅から京阪・近江バス
[草津駅西口行] または [石山駅行]
「大津署前」下車 約 10 分
- ・JR 大津駅からタクシー約 5 分
- ・JR 膳所駅から徒歩約 12 分
- ・京阪電車石場駅から徒歩約 5 分
- ・名神大津インターから車約 7 分

令和7年度放射線安全取扱部会年次大会（第66回放射線管理研修会）

期 日：令和7年10月16日(木)10：00～17日(金)13：00
会 場：ピアザ淡海（おうみ）（滋賀県大津市におの浜 1-1-20）（京阪電車石場駅から徒歩5分）
交流会：びわ湖クルージング（滋賀県大津市浜大津 5-1-1）（京阪大津線「びわ湖浜大津駅」から徒歩3分）

プログラム

○1日目 10月16日(木)

時 間	ピアザホール	大会議室
9：30～ 10：00～11：00（60）	開場・受付（3階ロビー） 開会・部会総会 令和7年度放射線安全取扱部会表彰式 （功労表彰・放射線安全管理奨励賞）	機器展示 10：30～16：50
11：00～12：00（60）	特別講演Ⅰ 「最近の放射線規制の動向（放射性同位元素等 規制法関連）」 喜田真一郎氏（原子力規制庁） 深野重男氏（原子力規制庁） 座長 稲垣昌代氏（近畿大学）	ポスター掲示 発表者は12：00までに貼り終 え、翌日12：00まで掲示
12：00～13：00（60）	昼食休憩	ピアザホール
13：00～14：20（80）	ポスター発表（大会議室）	2階ロビー
14：20～14：30（10）	休憩	相談コーナー
14：30～15：30（60）	特別講演Ⅱ 「核医学治療の最新動向と現場状況」 （1）核医学セラノスティクスの最前線：日本 から世界へ 渡部直史氏（大阪大学） （2）新規RI治療薬導入に伴う放射線管理対応 ～アイソトープ病棟魔改造～ 川口修平氏（大阪大学） 座長 佐々木將博氏（神戸中央市民病院）	（事前申込のみ） 12：10～14：10 申込みいただいた方で場所がわか らない方は受付までお越しくださ い。
15：30～15：40（10）	休憩	
15：40～16：40（60）	特別講演Ⅲ 「原子力災害への対応と自治体における取り組 み」 （1）原子力災害時における防護措置の基本的 考え方と有効性 長久保梓氏（日本原子力研究開発機構） （2）滋賀県における原子力災害対策に係る取 り組み 加藤直暉氏（滋賀県防災危機管理局） 座長 角山雄一氏（京都大学）	
18：00～20：00（120）	交流会（びわ湖クルージング）	

※大会会場から交流会会場への移動はシャトルバスを運行予定

○ 2 日目 10 月 17 日 (金)

時 間	ピアザホール	大会議室
9 : 05	開場・受付 (3 階ロビー)	機器展示
9 : 15～10 : 45 (90)	シンポジウム I 「大線量照射事業の現状と将来予測」 (1) Cobalt-60:Investing for the Future of Gamma Sterilization 金田宏樹氏 (丸紅ユティリティ・サービス (株)) (2) 大線量照射施設の維持管理と利用 廣庭隆行氏 ((株) コーガアイソトープ) (3) 大線量照射施設に係る規制とその基本的考え方 芳原新也氏 (近畿大学) 座長 朝田良子氏 (大阪公立大学)	9 : 10～12 : 00 ポスター掲示 9 : 00～12 : 00 ※ 12 : 40 以降に貼ってあるポスターは実行委員会で処分します。
10 : 45～11 : 00 (15)	休憩	
11 : 00～12 : 30 (90)	シンポジウム II 「琵琶湖をめぐる安全サイクルー放射線管理の 365 日ー」 (1) 国際共同利用・共同研究拠点の RI 施設における放射線管理の実例と安全文化醸成の挑戦 鈴木智和氏 (大阪大学) (2) 放射線業務従事者を送り出す事業所の 365 日 尾上昌平氏 (鹿児島大学) 座長 山本由美氏 (東北医科薬科大学)	
12 : 30～13 : 00 (30)	大会のまとめ 次回大会紹介 閉 会	

ポスター発表申込み一覧

分類	番号	表題	氏名（所属）
施設管理・運用・緊急時対策	A-01	利用者の減少に合わせた非密封 RI 施設の効率的な管理方法について	松田淑美（自然科学研究機構 岡崎共通研究施設）
	A-02	研究用 RI 施設の廃止措置計画と実施プロセス—川崎医科大学における事例紹介—	赤木和美（川崎医科大学）
	A-03	立入検査は教えてくれる「最近の検査に学ぶ現場改善のヒント」	佐々木博之、赤塩敦子、秋山和彦、稲塚祥次、片岡賢英、小坂尚樹、佐山邦之、鈴木朗史、関健介、廣田昌大、藤井智彦、松村万寿美（関東支部委員会）
	A-04	管理区域内の防火ダンパー交換工事に従事する工事関係者の放射線管理の一事例	阿部利明、府川洋代、日南真理、馬田敏幸（産業医科大学）
	A-05	液体シンチレーションカウンタ校正用線源の経年劣化に関する検討	赤石泰一、永田恭子（青山学院大学）
	A-06	放射線施設の安全管理情報の一元的な視覚化方法	杉島正樹（量子科学技術研究開発機構）
	A-07	エックス線装置における自動警報装置の意義について	榎本敦、中田よしみ、貴戸千津子、鳥井頼子、飯本武志（東京大学）
	A-08	PET 用サイクロトロン施設の廃止措置に伴う放射化物引渡しの実際	千葉晋平、浅場貴一、板垣颯平、中林貴之（日本アイソトープ協会）
	A-09	日本保健物理学会 空港保安検査時の線量調査に係る専門研究会活動報告	牧大介（（株）千代田テクノ）、伊知地猛（電力中央研究所）
	A-10	ヒヤリハット事例をベースにした教育訓練用教材の紹介	鈴木智和、高橋賢臣（大阪大学）、桧垣正吾（東京大学）
	A-11	消防機関及び医療機関と連携した応急の措置に係る合同訓練の報告	三家本隆宏、永井明、新藤元司（日本アイソトープ協会）
放射線教育・啓蒙活動	B-01	放射線教育のデジタル化に向けた取り組み	岩崎智之（愛媛大学）
	B-02	国際原子力科学オリンピック (2nd INSO) 日本チーム参加報告	角山雄一、富田夏希（京都大学）、佐藤大樹、宮村浩子、生田優子、小野瀬貴利（日本原子力研究開発機構）、廣田誠子（広島大学）、芳原新也（近畿大学）、藤島かおり（日本アイソトープ協会）、宇井直人（日本原子力文化財団）、中島宏（北海道大学）、飯本武志（東京大学）
	B-03	大学における学生向けエックス線講習会の資料づくり	白田ひびき、筒井洋平、小池裕也（明治大学）、杉山和幸（理化学研究所）
	B-04	明治大学放射化学研究室での産学連携放射線教育 3 年間の軌跡	高橋亘、小池裕也（明治大学）、加藤明子（エア・ウォーター防災（株））、杉山和幸（理化学研究所）
	B-05	産学連携で築いた放射線教育、手探りの 10 年！	加藤明子（エア・ウォーター防災（株））、高橋亘、橋爪駿介、猪瀬聡史、小池裕也（明治大学）、杉山和幸（理化学研究所）
	B-06	大阪・関西万博における科学的リテラシー涵養活動	中村秀仁、川端祐司、窪田卓、池上麻衣子、高田卓志（京都大学）、佐々木道也（電力中央研究所）、白川芳幸、北村尚（量子科学技術研究開発機構）
分科会・委員会・支部活動	C-01	分科会始動 現場に即したオーダーメイド型放射線教育構築への取り組み—獣医療従事者の放射線安全教育を	獣医療従事者の放射線管理実態調査と教材開発分科会
	C-02	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会活動報告 2025	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会
	C-03	特定業務従事者健康診断に関する意見交換	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会
	C-04	PET 施設管理研究会の活動報告	PET 施設管理研究会
	C-05	企画専門委員会の活動—令和 7 年度 教育訓練講習会アンケート調査結果とその考察—	放射線安全取扱部会 企画専門委員会
	C-06	令和 8 年度放射線安全取扱部会年次大会のご案内	放射線安全取扱部会 東北支部
	C-07	近畿支部活動の紹介	放射線安全取扱部会 近畿支部
環境放射能・その他	D-01	雨水中のヨウ素 129 降下量基礎データ蓄積のための調査	松村万寿美、吉田哲郎、坂口綾、高橋努、笹公和（筑波大学）、松中哲也（金沢大学）
	D-02	ストロンチウム吸着剤を用いた水中の放射性ストロンチウムの迅速分析法	緒方良至、小島貞男、有信哲哉（愛知医科大学）、箕輪はるか（東京慈恵会医科大学）、杉原真司（大分大学）、加藤結花（アロカ（株））、末木啓介（東京都立大学）
	D-03	放射線測定器における機能確認の有効性検討	吉葉友規、三家本隆宏（日本アイソトープ協会）
	D-04	線量計の三段階連携校正と記録様式	河野孝央（（株）日本遮蔽技研）

掲示時間（10 月 16 日 12：00～17 日 12：00）

発表時間（10 月 16 日 13：00～14：20）

奇数番号ポスター説明（13：00～13：40）偶数番号ポスター説明（13：40～14：20）